

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	民法ⅠA（Civil LawⅠA）		
ナンバリングコード	E20506	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル 法律学
単位数	2	配当学年／開講期	2年／前期
必修・選択区分	選択必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E033002	クラス名	-
担当教員名	大西 貴之		
履修上の注意、 履修条件	履修条件はありません。		
教科書	教科書の指定はありません。授業ではレジュメを配布します。		
参考文献及び指定図書	池田真朗『スタートライン民法総論[第3版]』（日本評論社） 佐久間毅『民法の基礎1総則[第5版]』（有斐閣） 中田邦博、後藤元伸、鹿野菜穂子『新ブリメール民法1 民法入門・総則[第3版]』（法律文化社）		
関連科目	民法ⅠB、その他の法律系科目		

○基本情報		
授業の目的	本講義は民法総則について学ぶ科目です。 民法は、全部で5編1044条までの膨大な条文からなり、その第一編が「総則」に当たります。 民法は、私たちの人生の様々な局面（例えば契約や所有、婚姻や親子関係、相続）と密接に関わり、「社会生活の基本法」と呼ばれることもあります。その「社会生活の基本法」に共通するルールをまとめたものが民法総則です。 本講義では、民法の全体像及び民法総則の基礎を学び、その知識を用いて日常に潜む法的問題に対処ができるようになることを目指します。	
授業の概要	本講義では、最初に民法の入門として、民法（特に財産法）の全体像を概観します。それを踏まえて、次に民法総則の規定や制度の解説へと進めていきます。 毎回事前に資料を公開します。講義では、その資料の内容を確認したことを前提にしてレジュメを用いて進めます。 総則の規定や制度が現実にとどのように関わるのかイメージしやすいように、できるだけ具体例を挙げながら講義を進めます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会における民法の重要性を理解し、身近な法律トラブルに関心を持つようになること		15点	
【知識・理解】	民法の基本的な考え方や全体像、民法総則の規定や制度（法律行為・意思表示・代理・時効など）について理解すること	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	民法総則における専門的な用語や言い回しについて他者に正確に説明できるようになること	25点		
【思考・判断・創造】	現実の具体的な問題に対して講義で学んだことを応用・実践できるようになること	25点		
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
期末試験は70点満点(空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題)。 提出物には①コメントシート(15点満点)と②授業の内容理解を確認する必修課題(15点満点)があります。 毎回のコメントや課題へのフィードバックは、次回以降の授業にて行います。 定期試験の要点と解説についてはGoogle Classroomに掲載します。				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 民法ⅠA (Civil Law I A)	授業コード E033002
担当教員 大西 貴之		
学修内容		
1. 民法とは？ ガイダンス、受講にあたって、民法の基本を知ろう		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
2. 民法の全体像(1) 債権法の概観、契約、不法行為		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
3. 民法の全体像(2) 物権法の概観、物権法の基本的な考え方、対抗要件とは		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
4. 法律行為(1) 法律を「動かす」仕組み、法律を動かす「プレイヤー」であるためには		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
5. 法律行為(2) 制限行為能力者制度、大人になるまでは—未成年者、大人になったとしても—成年後見制度		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
6. 意思表示(1) 自分の意思を示して自分から法律を動かす、強迫による意思表示、詐欺による意思表示		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
7. 意思表示(2) 錯誤による意思表示、動機の錯誤(基礎事情の錯誤)、第三者が巻き込まれた場合		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
8. 意思表示(3) 心裡留保、通謀虚偽表示		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)

○授業計画	科目名 民法ⅠA（Civil LawⅠA） 担当教員 大西 貴之	授業コード E033002
学修内容		
9. 代理(1) やりたいことは山ほどある、でも身体は一つ、「代理」制度、任意代理のメカニズム		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
10. 代理(2) 代理のルールと無権代理、代理権の濫用・自己契約・双方代理・利益相反行為		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
11. 代理(3) 本人のせいで代理人であるかのように見えている場合、表見代理の要件と効果		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
12. 条件・期限 条件の種類、条件についてのルール、期限の種類、期限についてのルール		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
13. 時効(1) 「まわる、まわる、時代はまわるよ」、消滅時効のルール、取得時効のルール		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
14. 時効(2) 時効は勝手に生じない、時は止まらなくても時効は止まる、「ポーズ」と「リセット」		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
15. まとめ これまでの振り返り、その他の民法総則のルール		
予習	事前公開の資料を読み、分からない語を事前に調べておくこと	(約2.0h)
復習	各回のレジュメにある内容確認のための問題に取り組むこと	(約2.0h)
16. 期末試験 空欄補充問題、正誤訂正問題、用語説明問題、事例論述問題		
予習	15回までに配布した資料、レジュメ等をまとめて振り返ること	(約2.0h)
復習	試験の要点と解説を確認して、これまでの内容理解を定着させること	(約2.0h)